

奈良中学校だより



世界を  
小とせよ

平成31年元旦  
奈良中からの初日の出



熊谷市立奈良中学校第9号  
TEL 048-521-2364  
平成31年1月8日発行

学校教育目標

自ら考え  
他に貢献できる生徒の育成  
目指す生徒像

- ☆自ら学ぶ生徒
- ☆心を耕す生徒
- ☆体を鍛える生徒

奈良中スローガン

- 「時・場・礼」
- 「負けじ魂」
- 「意気高し」
- 「深き愛情」

奈良中の  
伝統です。

学校における  
電話対応について

文部科学省の指導を受け、教職員の負担軽減に取り組むとともに、「子供たちと向き合う時間」を確保し、指導の充実を図ることを目的として、放課後の電話対応については、緊急な場合を除き午後6時30分までといたします。趣旨をご理解の上、ご協力お願いいたします。

受賞おめでとう

- 平成30年度郷土を描く児童生徒美術展《入選》天沼千秋 飯田朱音 鯨井稀晶 松村彩果
- 平成30年度北部地区人権作文感謝状 坂口妃由
- 平成30年度地区文集「けやき」《特選》鯨井稀晶 西塚萌衣 栗原和沙 田畑拓也
- 《入選》小林明里 門倉千穂
- 熊谷文集「だんらん」入選 門倉千穂(作文) 伊藤大悟(作文)
- 「税の作文」熊谷市教育委員会教育長賞 松崎七海
- 平成30年度明るい選挙啓発標語コンクール《入選》藤野綺人
- 「税の標語」全国関税連合会《優秀賞》滝澤 薫
- 埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール《入選》松村雪那
- 熊谷市歯・口の健康啓発標語コンクール《入選》栗田紘利
- 熊谷市歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール《入選》神田彩花 鯨井稀晶 松村彩果
- 本庄第一高等学校主催による中学生作品コンクール書道の部《入選》高橋瞬 門倉美彩 門倉千穂
- 埼玉県芸術文化祭2018芸術文化ふれあい交流フェア「ふれあい短歌賞」《大賞》稲村陸 高橋幸汰 角田成李 《準賞》飯塚亜生奈 牧野有起 菊地尊 泉直浩 門倉千穂 田畑拓也 棚澤洸太 成田一翔 成田彩菜

3年生の皆さんへ

いよいよ、受験の日が近づいて来ました。勉強と同じくらい大切なことは、体調管理です。規則正しい生活、朝食を必ずとり、睡眠時間を確保する。よいコンディション作りも大切な受験対策です。万全の状態で試験当日を迎えられるよう今から心がけましょう。

1月の主な行事予定 完全下校

8	火	授業開始 全校朝会	5:00
9	水	給食再開	5:00
10	木	校内書きぞめ展(～21日) 専門委員会	☆
11	金	3年実力テスト	5:00
12	土		
13	日		
14	月	成人の日	
15	火	登校指導日B 新入生説明会 PTA理事会	5:00
16	水	検証テスト(2年)	5:00
17	木		5:00
18	金	安全点検 職場体験打ち合わせ	5:00
19	土	熊谷地区書きぞめ展	
20	日	〃	
21	月	学校給食週間	5:00
22	火	生徒朝会 ふれあい講演会	5:00
23	水		5:00
24	木		☆
25	金	夢いっぱいアート展(～2/1)	5:00
26	土	奈良地区文化展 児童生徒美術展	
27	日	〃	
28	月		5:00
29	火	学年朝会	5:00
30	水		5:00
31	木	専門委員会	☆

- 埼玉県郡市対抗学年別中学生ワトテニス大会出場 小島颯月、滝澤卓 吉野優作 小枝大義 高野雄生 棚澤怜久 萩原志道 羽鳥侑之介
- 秩父カップ争奪ワトテニス大会男子団体 《第2位》 小島颯月、滝澤卓 高野雄生 小枝大義 吉野優作 棚澤怜久 伊藤涼雅 高橋幸汰
- 熊谷ラグビーポスター《優秀賞》 大島桜良 山田裕菜 天沼千秋 小田嶋凜 松崎七海 飯田朱音 神田彩花 鯨井稀晶 篠原 悠 松村彩果

生徒数  
男子 84名  
女子 72名  
計 156名  
(1月1日現在)



健全育成会講演会 (H30.12.7)

昨年も、多くの皆さんが様々な分野で活躍し、たくさんの表彰を行うことができました。得意分野で力を発揮することで、他の分野での活躍も期待できます。今年も、皆さんの活躍に期待しています。

『猪突猛進』+『状況判断』でいこう!

(1月全校朝会の話から)  
みなさん、おはようございます。そして、明けましておめでとうございます。新しい年が始まりました。

今年の干支は「イノシシ」です。十二支の中で、12番目の干支となります。どのようにしてこの順番が決まったかという、神様の所まで競争し、到着順位に応じて決められたという話が一般的です。その競争の中でイノシシは12位だったと言うことです。イノシシはそんなに足が遅かったのでしょうか。「猪突猛進」という言葉がありますが、イノシシは突進力とそのスピードは他に優るとも劣りません。では、なぜイノシシは最下位になってしまったのでしょうか?調べてみました。いろいろと説はあるようですが、イノシシはやはりものすごいスピードで1位で走っていたのですが、ゴールを乗り越して、神様の所へ戻ってきたときには最下位だったということでした。

そこで、先ほどお話した「猪突猛進」についてお話しします。この言葉は「一つの目標を目指して猛烈な勢いで突き進む」ということですがその前に「周囲の人のことや状況を考えずに」とあります。つまり「猪突猛進」とは、「周囲の人のことや状況を考えずに、一つの目標を目指して猛烈な勢いで突き進む」ということになります。目標に向かって必死に頑張ることは良いのですが、周りを見る目、周囲への気配り、心配りに欠けているということになります。十二支のレースにおいて、少しでも状況を考え、判断し行動することができていれば、イノシシは最下位にならなかったかもしれません。つまり、「状況判断」が無かったことが敗因だったのかもしれない。

さて、皆さんの中には、新しい年を迎え、今年の決意や目標を考え、その実現に向けてすでに頑張りはじめた人も多いと思います。そんな皆さんに伝えたいのは、「イノシシ」のように、目標に向かって猛烈な勢いで突き進むことは大切ですが、「時には歩みを止めて考える、その時の状況を見つめ、判断することも大切」ということです。「かしこい生徒」の「か」です。考え判断しながら、一心不乱に頑張ることが成功への近道だと思います。

この一年、皆さんには、「猪突猛進」のような力強さ、頑張りとともに、適切に「状況判断」ができる冷静さをもって、様々な活動に取り組んで欲しいと思います。

皆さん一人一人の健康を祈念するとともに、一人一人の成長を期待してお話を終わります。

